

機械に貼付の注意・警告ラベルは

「取説」の**エッセンス**と**SEIWA**の想いをこめました。

機械は あなたの忠実なパートナー

あなたの洗浄機を末永く大切に!!

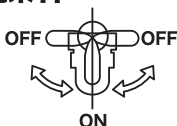
1

忘れずに!

注意

燃料コック操作

移動中や停止後は
燃料漏れ防止の為
必ず燃料コックを
閉じて下さい。



作業終了時は

- 水抜き
- 燃料コックを閉める
- キーが OFF になっていることを確認くセル付きの機種>

日常保管時は

- 雨水などが入り込まない、湿気が少ない場所に保管する。
- できるだけ水平な場所に保管する。
- 機械の上に物を置かない。また、倉庫などに保管する際はマフラーなどが十分に冷えていることを確認する。
- エンジンのガバナやコントロールレバーなどに物が当たらないよう保管する。
- 冬場はできるだけ凍結しにくい場所に保管する。

2

注意

オイルセンサー付

作業中エンジンが停止
した場合は、オイルを
補充してください。

3

危険

火気厳禁

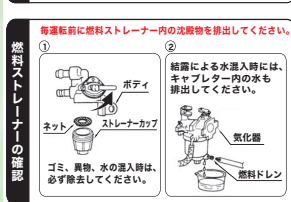
- ・ 給油時エンジン停止。
- ・ 火気の危険あり。
- ・ 給油口に火を近づけないこと。KW5611GAA

無鉛ガソリン

7

注意

エンジンが始動しないとき、又は急に止まるときは、次のことを確認してください。



4

警告

高圧力で噴射される水流は身体を傷つける危険があります。
● 噴射されている水流を手や体に当てたり、人体に向けてください。
● エンジン停止後ホース内に圧力が残っています。
使用後は必ず洗浄機の引き金を引いて、残圧を逃がしてください。

注意

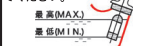
- 海水、河川等不純物を含んだ水は使用しないでください。
- 2分以上の空運転は避けてください。
- 寒冷時は凍結防止のため、水抜きを行ってください。

取扱説明書をよく読み、安全にお使いください。

5

注意

オイル確認
運転前に必ずエンジンオイルを
検油棒にて確認してください。
本機は **オイルセンサー付**
です。
オイルが最低レベルの場合、焼
付防止のためエンジンがかかり
ません。最高レベルまで注油し
てください。



6

注意

ラインストレーナー確認

ラインストレーナー付です。
定期的に取り外し、清掃を
行ってください。



表側



10

注意

マフラー高温注意
さわるとやけどを
するおそれがあり
ます。KW56256AA

警告

排ガスに注意
室内や換気の悪い
所での運転は人体
に有害で危険です。

危険

火気厳禁
・ 給油時エンジン停止。
・ 火気の危険あり。
・ 給油口に火を近づけないこと。

無鉛ガソリン

11

オイル交換時期

エンジンオイル:100 時間毎
洗浄ポンプオイル:200 時間毎

裏側



暑い時期

特に注意!

9

注意

火気厳禁

- ・ 給油は必ずエンジンを停止して行ってください。
- ・ 燃料をこぼしたら確実にふき取ってください。
- ・ エンジン給油口付近に火気を近づけないでください。
- ・ 排気口付近に燃えやすい物を近づけないでください。
- ・ 燃料は無鉛ガソリンを使用してください。

機械設置場所の注意

- ・ 機械は平坦な場所に設置してください。
- ・ 周囲の壁、障害物より2m以上離して設置してください。
- ・ 機械下部の吸、排風口をふさぐと、エンジントラブルの原因になります。
- ・ 軟弱地や雑草地等の場所で使用しないでください。

オーバーヒートに注意

- ・ 直射日光下での使用は避けてください。エンジン停止等のトラブル発生の原因となります。
- ・ スムーズな再始動の為、作業中断時は扉類を開放して内部の放熱をして下さい。

指定オイル使用

- ・ エンジンオイルはSAE10W-40を使用してください。
- 使用前に取扱説明書をよくお読みください。

12

高温注意



13

ジェットグリーン

型 式	JC-1513DPN+
最大出力	6.3PS
ポンプ 回 数	1800rpm
最大圧力	15MPa
総 水 量	13ℓ/min
製 造 No.	

SEIWA 精和産業株式会社

※ 見やすくするため、原寸とは異なります

※警告ラベルは見にくくなったら**新しい物**(有料)に貼り替えて、常に確認できるようにしてください

これさえ守れば、機械はあなたの忠実なパートナーとして余分なコストをかけずに、安全に働き、作業効率を上げてくれます。

現場を止めないための取扱説明書のエッセンスが詰っています。ぜひお読みください。

日常の点検

～日々のメンテナンスをしっかりと行なえば、機械の寿命もぐっと長持ち!!～

使用前に毎回、必ずご確認ください！

7

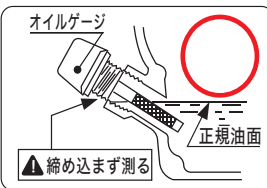
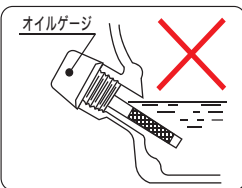


注意

エンジンが始動しないとき、又は急に止まるときは、次のことを確認してください。

エンジンオイルの確認

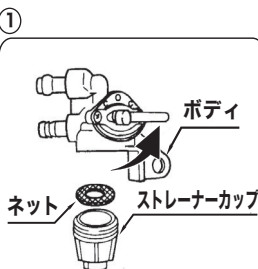
【オイルの測り方】毎運転前にオイル量を確認して下さい。



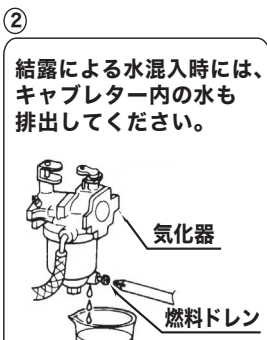
※初回のオイル交換は必ず行ってください。
オイル内に金属粉が蓄積するとオイルセンサーの誤作動によるトラブル発生の可能性があります。

燃料ストレーナーの確認

毎運転前に燃料ストレーナー内の沈殿物を排出してください。



ゴミ、異物、水の混入時は、必ず除去してください。



②

結露による水混入時には、キャブレター内の水も排出してください。

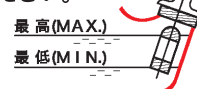
5

注意

オイル確認

運転前に必ずエンジンオイルを検油棒にて確認してください。

本機は **オイルセンサー付** です。
オイルが最低レベルの場合、焼付防止のためエンジンがかかりません。最高レベルまで注油してください。



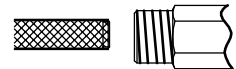
オイル不足は不具合が起こりやすいため、**オイルセンサー**を付けています。
長く使っていただくために、**毎回必ずチェック**してください。

6

注意

ラインストレーナー確認

ラインストレーナー付です。
定期的に取り外し、清掃を行ってください。



↑定期的にお忘れなく！

2

注意

オイルセンサー付

作業中エンジンが停止した場合は、オイルを補充してください。

特別掲載

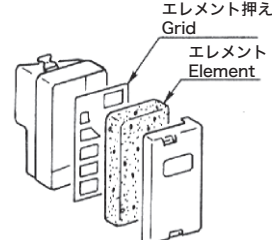
ラベルはありません

エアクリーンの清掃

エンジン内部のエアクリーンも定期的にご確認ください



エレメントの汚れがひどい時は、エレメントを軽く叩くか内側からエアを吹いてほこりを落としてください。



エレメントの汚れがひどい時及びオイル分がなく乾いている時は、ガソリンで洗浄後エンジンオイルに浸し、片手で固く絞ってください。

10

オイル交換時期

エンジンオイル:100 時間毎

洗浄ポンプオイル:200 時間毎

オイル交換時期もお忘れなく！

8

動画でチェック！

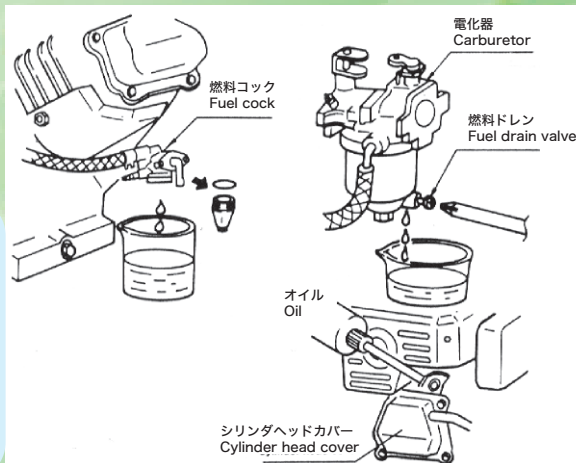


長期保管する時は

～30日以上使用されない場合～

1. エンジンを30日以上お使いにならない時は、燃料変質による始動不良または運転不調にならないように気化器内燃料を排出すると共に、燃料コックより燃料タンクの燃料を抜き、湿気の少ないところを選んで格納して下さい。
2. 外面は油のしみた布で清掃します。
3. 点火プラグを外してシリンダ内にエンジンオイルを少量（約10cc）注入し、クランク軸を数回手まわして点検プラグを取り付け、圧縮のあるところまでまわして止めて下さい。

※エンジンの種類により、形状及び方式が異なる場合がありますのでご了承下さい。



●お問い合わせ

これから、新製品・特価情報をE-mailで提供しますので下記宛にご連絡下さい。

<http://www.seiwa.com>

E-mail support@seiwa.com

SEIWA 精和産業株式会社

本社/〒136-0072 東京都江東区大島 5-12-7 TEL 03(3638)6911 FAX 03(3638)6921
配送センター/〒432-8006 静岡県浜松市西区大久保町1348 TEL 053(485)6181 FAX 053(485)6180